

みなさん、こんにちは！

今年10月の男女共同参画推進室開室式からあっという間に約2ヵ月が過ぎ、年末までわずか一週間を残すばかりとなりました。寒い日々が続いていますので、新年に向けて風邪などひかぬよう御自愛ください。それでは、今年最後の島根大学男女共同参画メールマガジンをお送りさせていただきます。

☆今号の目次

1. 男女共同参画に関する意識調査アンケートの回答期限の延長について
 2. 二次募集受付中！多忙な時期の女性研究者に、研究支援員を配置します！
 3. 男女共同参画推進室の愛称・ロゴの応募総数について
 4. 男女共同参画推進室キックオフセミナーの報告
-

☆男女共同参画に関する意識調査アンケートの回答期限の延長について

12月8日、および12月17日にご協力をお願いさせていただいた男女共同参画に関する意識調査アンケートですが、島根大学における男女共同参画推進の取り組みを一層進めるため、出来るだけ多くの学内構成員のご意見を参考にさせていただきたいと思っておりますので、アンケートの回答期限を延長させていただくことにしました。ご入力はまだの方、大変お忙しいこととは存じますが、ご協力をお願いいたします。

実施方法：Web アンケートシステムによるアンケート調査

締切：2009年1月31日

アンケート掲載アドレス：

<http://www.shimane-u.ac.jp/gsysopen/AutoForm.asp?UserID=admin&PageID=21>

☆二次募集受付中！ 多忙な時期の女性研究者に、研究支援員を配置します！

男女共同参画推進室では、今月から、女性研究者支援の一環として研究支援員制度をスタートさせました。12月1日締切りで第一回の利用申請を受け付けたところ、全学から4名の応募がありました。審査委員会での審議の結果、全応募者の申請が承認され、研究支援員の配置が始まったところです。

前回の応募で、申請数が定員に達しなかったため、再度、利用申請を受け付けることにしました。対象となる方は、ぜひ制度の利用をご検討下さい。希望者は、1月19日までに申請して下さい。

この制度は、出産・育児や介護のため、家族と離れて生活しているため、学外や学内の委員会で女性研究者としての責任を果たすため・・・など、多忙な時期の女性研究者を支援するものです。大学が雇用した研究支援員が、各女性研究者のところに配置されて、研究の補助業務を行います（支援員の人選は研究者側で行うこともできます）。

くわしくは、島根大学ホームページの教職員向け情報（ArcWizShare）

<http://sazae.jn.shimane-u.ac.jp/acspace/do/Login/acspace?cause=PolicyException>

の01教職員向け情報>01お知らせ>男女共同参画推進室からのお知らせ>研究支援員制度についての中での支援員制度応募要項をご覧下さい。または、男女共同参画推進室（教育学部棟G階、内線:2371,

e-mail : kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp)まで、お問い合わせください。

（制度概要）

次のような理由で、研究時間の確保が困難な、女性研究者が対象です。

(1) 出産、育児(小学生以下)、(2) 家族の介護、看病、(3) 家族と離れて暮らし二つの家を行き来している。(4) 女性であるために学内・学外の委員を委嘱され、負担が重い。これ以外の理由でも考慮される場合がありますので、お問い合わせ下さい。職種としては、教員、研究員、教務職員、技術職員、医療技術職員、医員が対象です。くわしくは応募要項をご覧下さい。

理系分野、もしくは文理融合分野の研究テーマについて、支援員の配置を希望する方に限ります。また、申請者が大学での職務の一環として研究を行って支障のないテーマに限ります。平成21年度以降の募集については、文系分野についての募集も検討中です。

平成21年2月2日～平成21年3月31日の期間で、月36時間を上限に配置します。

☆男女共同参画推進室の愛称・ロゴの応募総数について

今年10月下旬から11月下旬にかけて募集した、男女共同参画推進室の愛称・ロゴ

ですが、皆様方のご理解、ご協力により、締切までに学内外から 82 名の方々が応募してくださいました。ロゴ・愛称の双方に応募して下さった方が多く、愛称として 79 件、ロゴとして 59 件が集まりました。

来年 1 月早々に選考委員会を開き、男女共同参画推進室にふさわしいロゴ・愛称を決定させていただきます。結果は、次号のメールマガジンで発表させていただきます。多数のご応募、ありがとうございました。

☆男女共同参画推進室キックオフセミナーの報告

さる 12 月 12 日に、松江キャンパスと出雲キャンパス（遠隔会議システムによる視聴）で「男女共同参画推進室キックオフセミナー」（医学部附属病院女性スタッフ支援室との共催）を開きました。両キャンパスあわせて、100 人以上の参加者がありました。長時間のセミナーにご参加して下さった皆さま、誠にありがとうございました。以下、セミナーの簡単な報告です。

「我が国における女性研究者支援の取組と現状」と題する基調講演では、川端和明氏（文部科学省科学技術・学術政策局基盤政策課長）から、文部科学省による科学技術関係の人材施策、女性研究者が置かれている現状、女性研究者が必要としている労働環境、および同省による「女性研究者支援モデル育成」プログラムの概要と採択機関による実施例などの説明がありました。

次に、男女共同参画推進室講師の清末愛砂が、島根大学における男女共同参画事業のあゆみ、および平成 20 年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」プログラムに採択された島根大学の「地方から開く女性研究者の未来 in 島根」の概要やこれまでの活動内容を報告しました。

最後に、医学部附属病院女性スタッフ支援室副室長の内田伸恵氏（医学部教授）から、平成 19 年度文部科学省「地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム」に採択された「新しいキャリア継続モデル事業—しなやかな女性医療職をめざして—」の活動内容やその成果、および女性スタッフ支援室が実施した医学部・附属病院でのアンケート調査から得られた分析結果の報告がなされました。

このメールマガジンに関するご質問・ご意見は
kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp までお願いします。

★ お願い ★

このメールマガジンは、島根大学の構成員全員にお伝えしたい内容を掲載しております。allstaff 宛のアドレスにお送りしていますが、学部によっては講座の 代表者のかたにしか届かない設定がされているところがあるようです。そのような設定の講座等におかれましては、代表のかたが講座内のスタッフ 全員に転送・配信下さいますようお願いいたします。また、PC環境にないスタッフがおられる講座等では、たいへんお手数ですが、プリントアウトして回覧していただければ幸甚です。
